

議長（志村 忠昭）

これをもって7番 小川 保議員の質問を終わります。

次に、6番 村岡 清邦君。

議員（村岡 清邦）

6番 村岡 清邦です。私は、30年度施政方針の中から、次の2点について質問しますが、私の調査不十分であったことにより、質問の一部を省いて質問をいたします。

1点目は、現在の社会では、本人確認の書類として運転免許証の提示がよく求められます。運転免許証を返納すると、こうした本人確認の書類が一つなくなることとなります。

そこで、お尋ねいたします。

高齢者運転免許証自主返納支援事業を引き続き推進することに加えて、自主返納の事前にマイナンバーカードの申請の指導、啓発を行い、カード申請率の向上につなげるお考えはありませんか。

次に、2点目として、生涯学習社会の形成としての施政方針の中の項目では、公民館、図書館、資料館、体育館などの連携強化や、老朽化した施設については改修し云々の考えが示されております。本町の図書館についても老朽化の施設と言えるものですし、住民の方からは、書籍がどこにあるのかよくわからないとか新しい書籍が少ない、雰囲気やや暗いなどの声を聞くことがあります。また、資料館については、企画内容についてはすばらしいと褒めてくれます、しかし少し手狭になったのではと聞くこともあります。駅の周辺にアンパンマン号の電車を見学に来る幼稚園児、保育所の児童を見かけることもあります。

そこで、お尋ねします。

1つ、駅周辺活性化整備に合わせて、図書館、資料館について整備するお考えはありませんか。先ほどの町長答弁の中にも少し触れられておりますが、よろしくお願いをしたいと思えます。

1つ、また多度津町は鉄道発祥の町であることから、新庁舎の2階または3階の通路、廊下を利用し、少し高い目線から多度津駅の様子やアンパンマン列車を見ることのできるスペースを設けることはできませんか。

1つ、新庁舎の側壁にも鉄道発祥の町多度津の文字を書くことにより、列車に乗った方にアピールして、多度津の町のイメージを発信するお考えはどうでしょう。このことにより、子供から大人まで幅広い世代にわたって集える地域として整備することになるのではないのでしょうか。

以上、質問いたします。

町長（丸尾 幸雄）

村岡議員ご質問のマイナンバーカードの推進についてお答えをしてみたいです。

近年社会全体の個人情報に対する意識の高まりとともに、本人確認の厳格化が急速に進んでおり、諸手続はもとより、社会経済活動を行う上でも本人確認は切り離せないものとなってきております。特に免許証をお持ちでない方や免許証を返納された方におかれましては、電子証明などの機能面とともに、マイナンバーカードの本人確認としての重要性は議員ご指摘のとおり、非常に高いものと考えております。以上のことから、免許証を返納された方に対しましては、総務課が行っております高齢者運転免許証自主返納支援事業と連携をして、独自で作成したマイナンバーカード啓発チラシの配布を本年1月から実施しております。しかし、ご指摘の事前取り組みといたしましては出来ていないのが現状でございます。今後はホームページや広報など、幅広いツールを活用し、また事前相談に来庁されました方に対しましても、チラシ配付の啓発に取り組み、カードの普及率向上につなげてまいりたいと考えております。以上で村岡議員の答弁とさせていただきます。

以下、教育長及び担当課長が答弁をしてみたいですのでよろしくお願いをいたします。

議長（志村 忠昭）

2点目。教育長。

教育長（田尾 勝）

村岡議員ご質問の2点目、駅周辺活性化の整備に合わせて、図書館、資料館を整備する考えはあるかのご質問にお答えします。

明徳会図書館につきましては、昭和57年3月に竣工し、現在では年間約4万人の町内外の方にご利用いただき、貸出冊数としては、年間約7万冊を貸し出しており、本町の生涯学習の拠点施設の一つとして重要な施設と考えております。現在も図書館職員やボランティアの方々は、より利用しやすい施設を目指して努力しておりますが、議員ご指摘のとおり、建築から35年以上経過し、施設の広さ等の関係で書架のスペースや閲覧スペースについても、十分な広さが確保出来ておらず、設備についても、現在の利用者のニーズに十分には答えられていない状況であります。教育委員会としましても、生涯学習の推進のためにも整備が必要であると考えております。

また、資料館につきましても、平成2年の竣工より、毎年時期に応じた企画展を開催し、年間7,000人の来館を町内外からいただいております。本町の文化財の保存の拠点施設として重要な施設として考えております。最近では合田邸を初めとする本通りを中心とする伝統的な町並みについても注目を浴びているところであり、資料館においても、町内外からの来館者を望める施設であ

ります。しかしながら、資料館の収蔵品も年々その量が増加しており、展示スペースはもとより、収蔵品の保管場所についても考慮しなければならない状況になっていることから、資料館については、施設の拡張が必要であると考えております。

図書館及び資料館の施設整備を駅周辺活性化整備に合わせて行うかどうかにつきましても、今後執行部内でも協議を行うとともに、多度津駅周辺開発整備特別委員会等でも協議していただこうと考えております。

以上、村岡議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

総務課長（矢野 修司）

村岡議員の2点目のご質問、新庁舎から多度津駅を展望できるスペースの設置についてお答えをいたします。

現在新庁舎整備基本計画の策定に向けて作業を進めているところではございますが、さまざまな意見や要望を今後の基本設計、実施設計に可能な限り反映をさせてまいりたいという風に考えております。

議員ご指摘の多度津駅を展望できるスペースの設置につきましても、実現できるよう検討してまいりたいという風に考えております。

続いて、3点目のご質問、新庁舎の側壁に鉄道発祥の町多度津の文字を描くことについてでございますが、多度津駅周辺に新庁舎を整備することにより、電車の乗客の方々にも多度津町をPRする機会ができることとなります。この機会を生かして、多度津町のイメージ発信ができるよう、先ほどのご質問の駅展望スペースと合わせまして、実現に向けて検討してまいりたいという風に考えております。ご理解賜りますようお願い申し上げます、答弁とさせていただきます。

議員（村岡 清邦）

縷々詳しい答弁をいただきました、ありがとうございます。

1点だけ質問をさせていただきたいと思っております。

マイナンバーカードの近隣の市町の交付率がもし分かれば、ご答弁いただけたらと思っておりますが、よろしくお願ひしたいと思っております。

住民課長（多田羅 勝弘）

村岡議員再質問の近隣市町の交付率についてお答えいたします。

答弁の前に近隣市町につきましても、多度津、丸亀、善通寺、まんのう、琴平の数字でお答えをさせていただきます。

まず、多度津町の発行枚数についてですが、2月28日現在で1,949枚となっており、交付率は8.23%でございます。近隣市町につきましても、発行率の下は7.05%から上は9.4%程度となっており、多度津町の部分については、真ん中ぐらいの数字となっております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（村岡 清邦）

ありがとうございました。

要望でございますが、子供から大人まで、幅広い世代にわたって集える駅前周辺の整備あるいは庁舎建設となるよう、積極的な推進を要望して、私の質問を終わります。ありがとうございました。